

鬼の霍乱

【今月の言葉】本当に風邪なんか引いたことない(五、六年)私は、何年振りかで高熱を出してしまった。しかも、その体で仙台まで自ら運転し、研修、出張に出かけた。他の人の車だと気持ちが悪くなるため自らの運転でなければだめなのだ。余り具合が悪いとは思わなかった。当日はレッグコートという勢いであった。しかし、帰宅後、熱がひどかった。しばらく病気をしていないことから、鈍感になっただけなのかな私? 今回の風邪、一週間熱が引かなかった。咳も。少しは私も弱さがあることを知って! 【文/表紙 遠藤節子】



【絶対の基本理念】 最終目標である「親亡き後の施設」建設に向け、新たな歩みを踏み出した私たちの絶対の基本理念として明文化し、支援の拠りどころと致します。

- 無私 (私が、私かの心のないこと)
- 愛 (大切に作る心、思いやる心)
- 内省 (深く自分をかえりみること)

6
月号

2010年6月15日発行
VOL.12 NO.6
(通巻116)

理事会・評議員会開催

TSK おりいぶ人



社会福祉法人 あいとく 愛篤福祉会・おりいぶ 工房阿列布
〒973-8407 いわき市内郷宮町峰根 65-187
TEL.0246-36-3944 FAX.0246-36-3922
e-mail : olive-f@amber.plala.or.jp



生老病死・愛別離苦

菅本晴代

(社会福祉法人愛篤福祉会評議員)

5月25日、親友の母の告別式に列席した。

故 長谷川ハル子様 享年100歳。中学2年生のひ孫が、お別れのことを「大きいおばあちゃんへ」との出だして読み始めた。

彼女が小学4年生のとき、夏休みの宿題に「川柳」をつくる宿題がでたこと。大きいおばあちゃんが川柳を好きだったことを思い出し、老人保健施設に入所しているおばあちゃんを訪ね一緒に宿題を作った思い出の話であった。

最後は喪主である孫の列席者への挨拶であったが、故ハル子さんは「出生して2時間後に実母が死亡してしまった」との話を始めて知った。孫は言う「その時、産んだ子を残して逝かなければならない母は、きっと強く自分の分も生きてくれることを願ったのではないかと。おばあちゃんは6人の子、12人の孫、7人のひ孫に恵まれ、実母の4倍の人生を生き抜いた」と結んだ。

昨今、100歳まで生きる方は増加しているが、本当の意味で生ききった方の葬儀に列席できて心が満たされた。

6月6日(日)、グループホームに移動したという先輩であり、師でもあるMさんを訪問

した。脳溢血から奇跡的に快復した。しかし、子供は一人で別世帯のため自宅に戻れない。グループホームに入れるのも大変なことなので、家族にすればホッと一息なのだが、本人は「私は終生出られないのではないか」と気分は下降線の模様。「私の家に外泊させたい」と思った。

その夜、娘さんに電話。私の気持ちを伝えた。

「先ずは外出から…」と奇数日に彼女の子供たちが学童保育を利用できるという19日(土)を外出日にしようと思う。我家で自然の空気を満喫して欲しい。そのあと3人で家庭の食事をしたいと予定している。

6月11日、サッカー・ワールドカップ(W杯)が開幕した。翌朝の新聞でW杯式典に出席予定であったネルソン・マンデラ元大統領(91)が式典に列席できなかったことを伝えていた。開幕当日の未明、ひ孫(13)ゼナニさんがW杯の前夜祭コンサートの帰りに交通事故で亡くなったとのこと。

23年前の夏、故ハル子さんも大学生になった孫を交通事故で亡くした人であることを思い出した。

TSK

おりいぶ人

1部 ¥100
(会員は会費に含む)

毎月15日発行

編集者 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根65-187
社会福祉法人愛篤福祉会 工房阿列布

発行所 〒981-0907

宮城県仙台市青葉区高松1-4-10

東北障害者団体定期刊行物協会

おりいぶ1号館 〒970-1151 いわき市好間町下好間字鬼越24-10 TEL.0246-36-3976・FAX.0246-36-3986
茶房おりいぶ 〒970-8026 いわき市平字中町7-2 TEL・FAX.0246-25-3977

おりいぶ後援会は、工房 阿列布を市民の立場から物心両面で支援するボランティア団体です。

平成22年度 第一回理事会・評議員会開催

五月二十八日(金) 工房阿列布、会議室において平成二十二年
度第一回の理事会・評議員会が開催され、平成二十一年度の事業
報告、決算内容が審議され左記のとおり承認されました。

事業活動収支計算書【就労支援会計】

(単位:千円)	
科 目	金 額
就労支援事業活動収入計①	8,580
就労支援事業活動支出計②	8,412
就労支援事業活動収支差額③=①-②	168
福祉事業活動収入計④	76,310
福祉事業活動支出計⑤	74,196
福祉事業活動収支差額⑥=④-⑤	2,114
事業活動外収入計⑦	7,634
事業活動外支出計⑧	7,578
事業活動外収支差額⑨=⑦-⑧	56
経常収支差額⑩=③+⑥+⑨	2,338
特別収入計⑪	6,358
特別支出計⑫	5,968
特別収支差額⑬=⑪-⑫	390
当期活動収支差額⑭=⑩+⑬	2,728
前期繰越活動収支差額⑮	17,090
当期末繰越活動収支差額⑯=⑭+⑮	19,818
繰越活動収支差額⑰	56
次期繰越活動収支差額⑱=⑯-⑰	19,763

資金収支計算書【就労支援会計】

(単位:千円)	
科 目	金 額
就労支援事業収入計①	8,580
就労支援事業支出計②	8,412
就労支援事業活動資金収支差額③=①-②	168
福祉事業収入計④	83,944
福祉事業支出計⑤	73,165
福祉事業活動資金収支差額⑥=④-⑤	10,779
施設整備等収入計⑦	0
施設整備等支出計⑧	0
施設整備等資金収支差額⑨=⑦-⑧	0
財務活動収入計⑩	0
財務活動支出計⑪	2,101
財務活動資金収支差額⑫=⑩-⑪	-2,101
当期資金収支差額合計⑬=③+⑥+⑨+⑫	8,846
前期末支払資金残高⑭	28,680
当期末支払資金残高⑮=⑬+⑭	37,526

貸借対照表【就労支援会計】

(単位:千円)			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	41,005	流動負債	3,153
固定資産	162,747	固定負債	15,504
(基本財産)	112,278		
(その他の固定資産)	50,469	基本金	44,626
		国庫補助金等特別積立金	102,964
		その他の積立金	17,741
		次期繰越活動収支差額	19,763
		(うち当期活動収支差額)	2,727
資産合計	203,753	負債・純資産合計	203,753

市役所ロビーに福祉の店



六月七日から
毎週月曜日に、
いわき市役所の
玄関ロビーで
『福祉の店』と
して授産品の販
売が行われてい
ます。
これは市内の
障がい者施設
事業所で組織す
る「市障がい者福祉連絡協議会」が授産
品の販路拡大と売り上げアップを行政に
要望して実現したものです。
毎週六から七施設が施設で製造してい
るパンやケーキ、お弁当などを販売して
います。是非お立ち寄りください。



おりいぶ後援
会、石井敏郎副
会長が畑の耕作
ボランティアに
管理機をもって
来所されました。

た。一面草だらけだった元畑は見る見る
うちに畑らしくなりました。トマトやナ
ス、サツマイモを
植え付けて頂き、
立派な畑になりま
した。今から収穫
が楽しみです。



が楽しみです。

おりいぶ後援会役員会

六月十六日(水) 工
房阿列布、会議室にお
いて平成二十二年
度第一回の役員会が
開催されました。
先日の総
会で承認された事業
計画の詳細を検討す
るための会議で、奉
仕活動
や親睦会の開催、
工房阿列布が行う
行事
への参加などを決定
しました。



健康診断を実施

利用者さんの健康管理の一環と
して年二回行なわれている内科の
健康診断が行
われました。
皆さん大きな
問題も無いよ
うで安心してま
した。



『親亡き後の施設』建設積立報告
「親亡き後の施設」の建設資金にと役
員会後におりいぶ後援会様より三百万
円の寄附を頂きました。

この浄財は会員の
皆さまからの会費や
後援会への寄附を貯
めたものだそうです。
誠にありがとうございました。



寄附者名簿(物品寄附含む) 平成22年6月

梶川様、岡田綱一様、磯上正昭様、
遠藤睦子様、星典子様、菅本晴代様、
阿部昇一様、ドリーム&ホープ様、
川瀬千枝様、根本恵子様、山田武様、
鈴木美智子様